



(ひな人形七段飾り)



(裏側に飾付した桃の花)

春の訪れに合わせて、今年もホスピタルストリートにおひなさまを飾付しました。ひな祭りは、女の子の健やかな成長と幸せを願う季節行事、起源は桃の花が咲く頃に行われていた中国のお節句に由来すると言われていたそうです。桃の花は長寿や魔除けの力があるとされているとのこと、今年は初めて桃の花の飾りを追加しておひなさまの周りに飾付しました。

こちらのひな人形は、2010年に患者さんから寄贈されて以来毎年飾付しておりますが、患者さんやご家族、職員からも大好評です。最近ご自宅で七段飾りのひな人形を飾付する方が少なくなられたようで、「立派なおひなさま！」「とても素敵です」とお声をかけていただくことも多く、「今年もまたおひなさまに会えて嬉しい！」と言ってくれる方もいらっしゃるほどでした。コロナの影響で外部からボランティアの方をお迎えできませんので、飾付はボランティア支援室の若手職員が担当していますが、患者さんがこのおひなさまを毎年楽しみにしてくださっていると思うと、細かいお道具の飾付に慣れず四苦八苦していた思いも忘れ、かえって励みになりました。



(関東風に飾付したおひなさま)

ひな人形の飾り方や並べ方は、地域や時代によって異なると言われていたようで、関東風の飾付は向かって左側が男雛で右側が女雛、関西風の飾付は向かって右側が男雛で左側が女雛とのこと、がん研では関東風で飾付しています。

また、3月3日のひなまつりに合わせて、栄養管理部が行事食を提供しますが、こちらのお食事に添える行事食カードは有志の職員によるボランティアで作成しました。うさぎ年に因んで、折り紙でうさぎ雛を折って一枚ずつ丁寧にうさぎのお顔も手書きして仕上げました。患者さんにもこのうさぎのような笑顔になっていただければ幸いです！



(桃の節句の行事食カード)



(職員によるボランティア活動)